

＜面積表＞

床面積		建築面積	床面積	建築面積
棟別番号	床面積			
1 母屋	1F 12.51 × 9.66 = 120.85 △ 0.76 × 1.97 = △ 1.50 ↓ 2F 2.97 × 9.66 = 28.69 3.94 × 4.92 = 19.38 Σ 48.07 m <sup>2</sup> 合計=167.42 m <sup>2</sup>	母屋 119.35 + (1.97 × 0.36) = 120.06 m <sup>2</sup> 下屋 (1.00 × 1.65 × 3.00) = 4.95 m <sup>2</sup> 合計 = 125.01 m <sup>2</sup>	4 川蔵 1F 4.875 × 4.36 = 21.26 2F 4.875 × 4.36 = 21.26 合計 = 42.52 m <sup>2</sup>	21.26 m <sup>2</sup>
2 中蔵	1F 3.90 × 5.85 = 22.82 m <sup>2</sup>	22.82 + (3.90 × 0.40) = 24.38 m <sup>2</sup>	5 渡り廊下 (1) 8.10 × 2.40 = 19.44 m <sup>2</sup>	19.44 m <sup>2</sup>
3 トイレ棟	1F 10.00 × 3.00 = 30.00 △ 2.50 × 0.45 = △ 1.13 ↓ Σ 28.87 m <sup>2</sup>	30.00 + (10.00 × 1.33) = 43.30 m <sup>2</sup>	6 渡り廊下 (2) 1.25 × 1.80 = 2.25 m <sup>2</sup>	2.25 m <sup>2</sup>
			7 廉房棟 9.00 × 3.72 = 33.48 m <sup>2</sup> 合計 295.11 m <sup>2</sup>	33.48 m <sup>2</sup> 269.12 m <sup>2</sup>

植栽

	樹種	H	C	W	本数
高木	ヤマモミジ	2.5		0.8	1本
		3.0	0.15	0.8	1本
	ウバメガシ	1.8		0.5	(生垣) 10本
低木	カンツバキ	0.4		0.4	(密植) 59本
	レンギョウ	1.0		3本立	2本
	ジンチョウゲ	0.6		0.5	3本
	シャクナゲ	0.8		0.6	1本
	ヒラドツツジ	0.8		0.8	1本
	マンリョウ	0.3		0.3	4本
	ガクアジサイ	0.8			1本

上記の他、サツキ7本、オタフクナンテン14本、ヒイラギナンテン2本

：大門コシタリート・東押王（劇毛引仕上）

化粧目地切（1.5mm目地@1,000~1,800）ハーフカーテン

コンクリート厚150 鋼筋タテ：ヨコ@200シングル

磚石地盤 厚150 (BC 0~40)

問一 石と既存のガラスを接着する銀ワイヤーに更利用

既存のヘ石を植込み縁石等に再利用

## 細川邸改修他工事

2

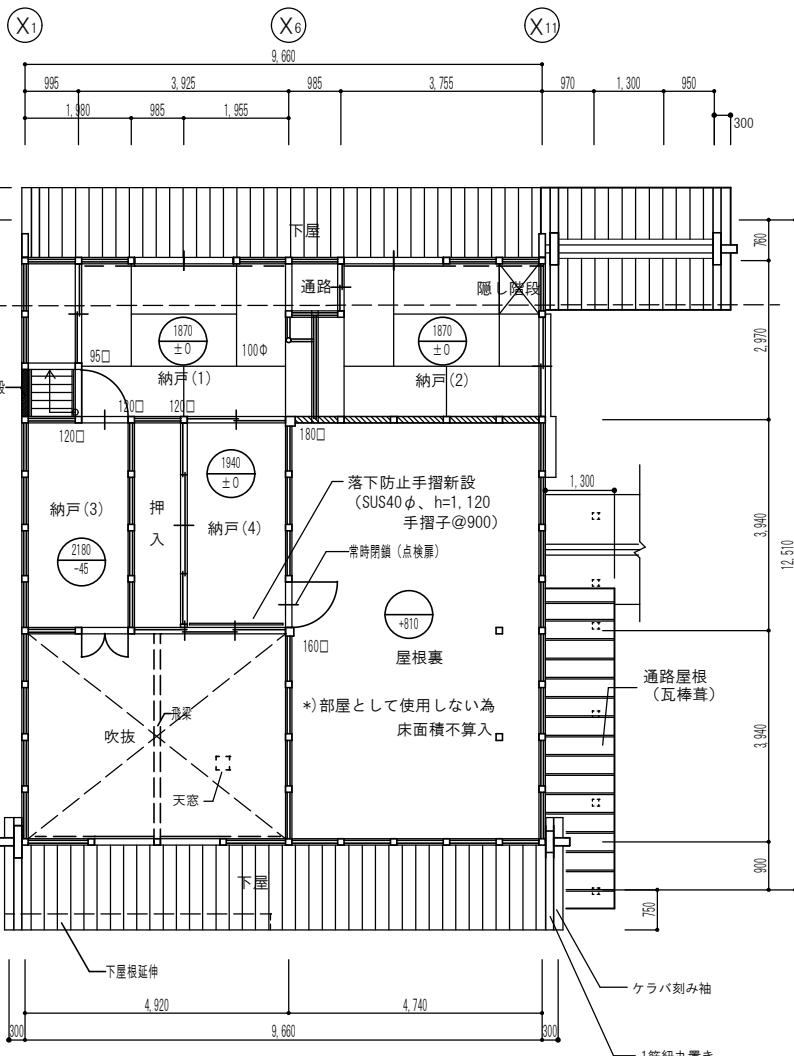
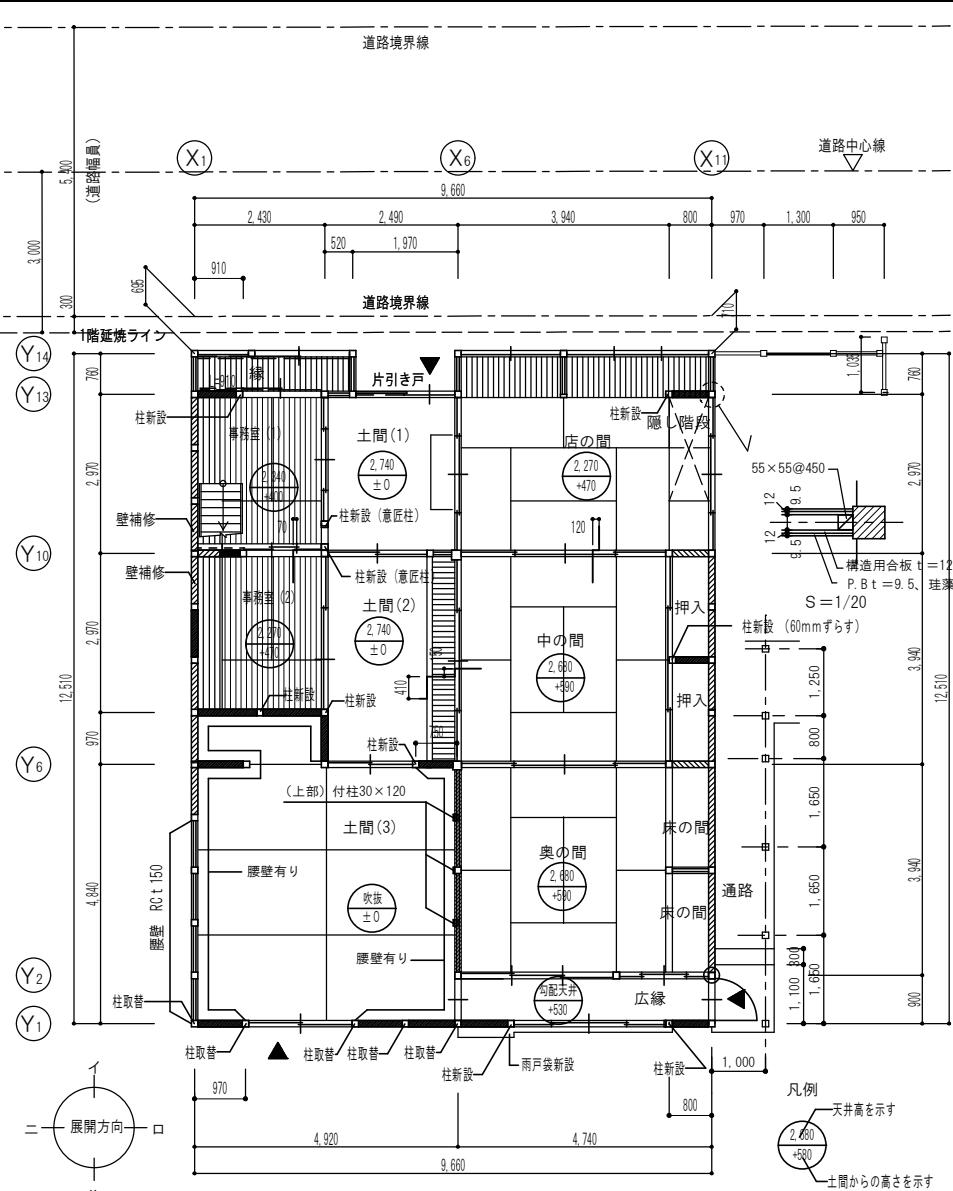
### 配置図・外構図

0610-1

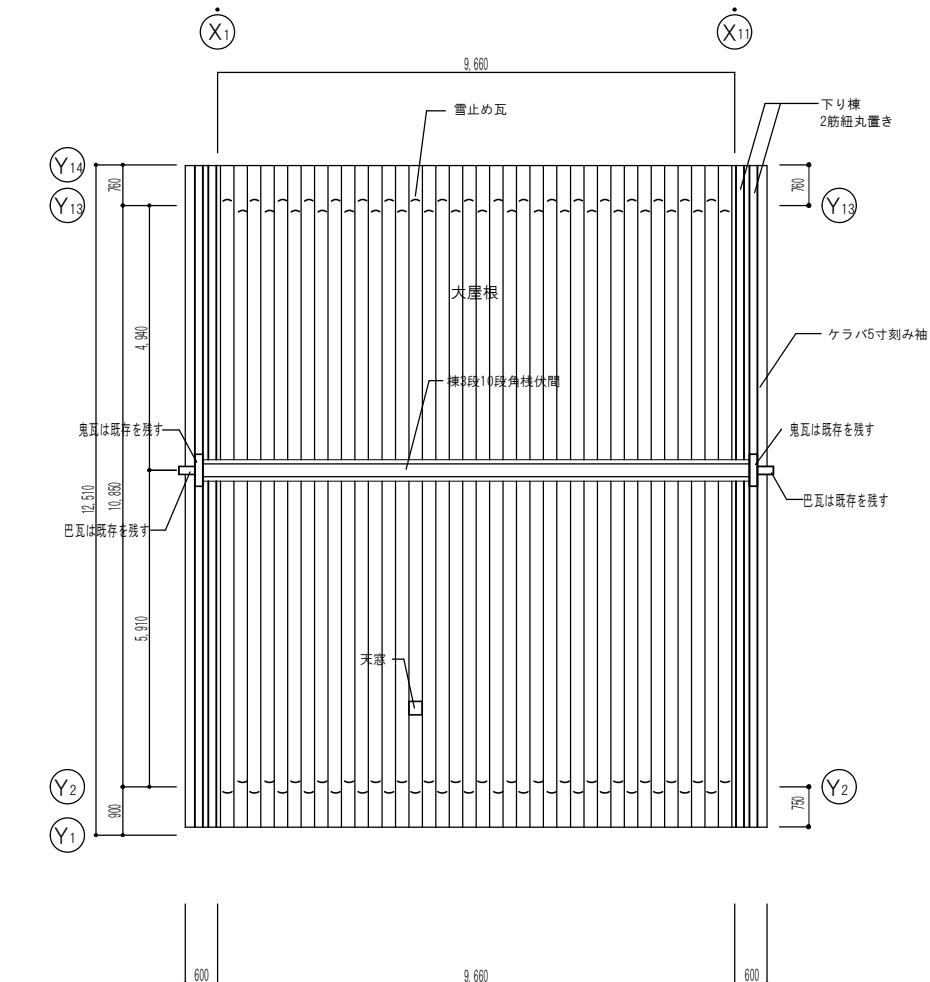
Page 1 / 100

20. 3. 15

縮尺 1/100



屋根の改修  
(大屋根) : 日本瓦葺新設(既存の瓦、葺き土、杉皮撤去後、既存野地板の上に新たに野地板(105×12)重ね張り)  
(下屋) : 日本瓦葺新設(既存の瓦、葺き土、杉皮を撤去)(一部下屋をL=300延伸する)

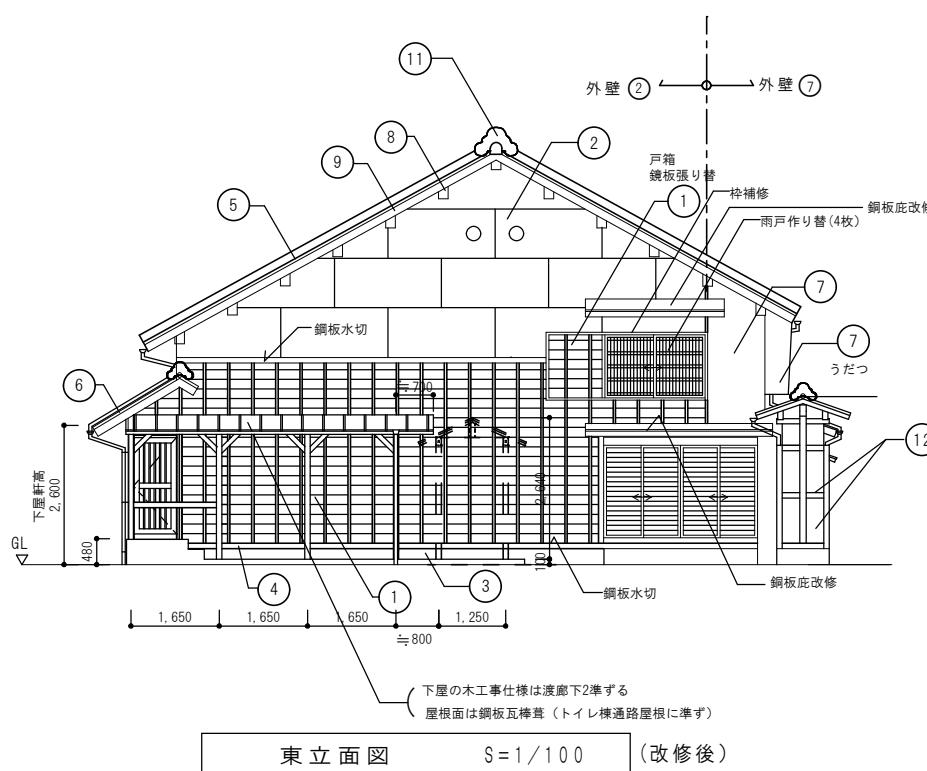
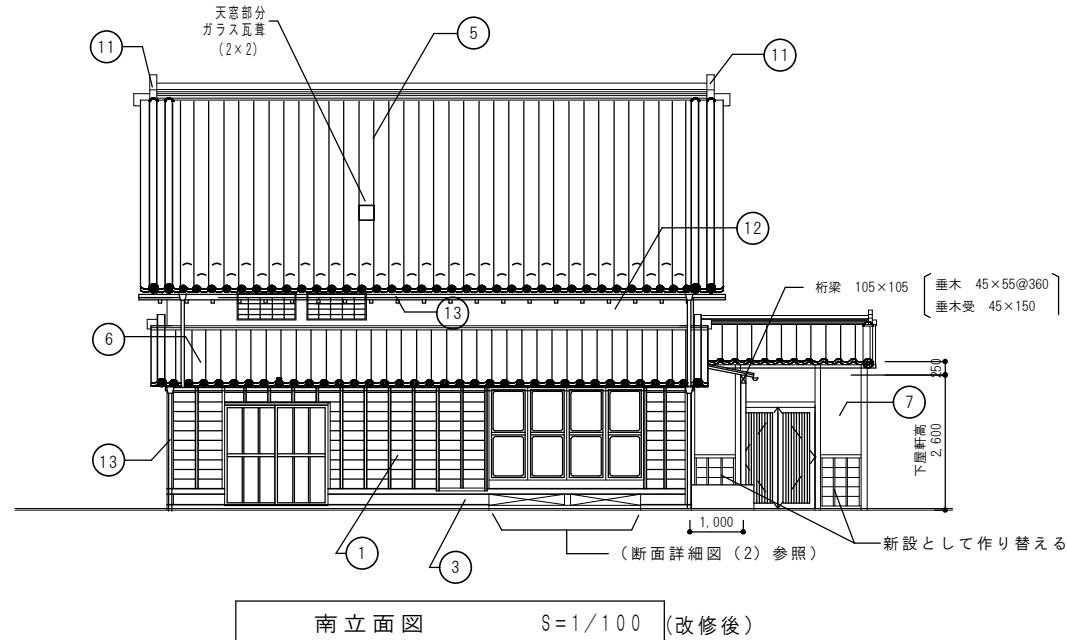
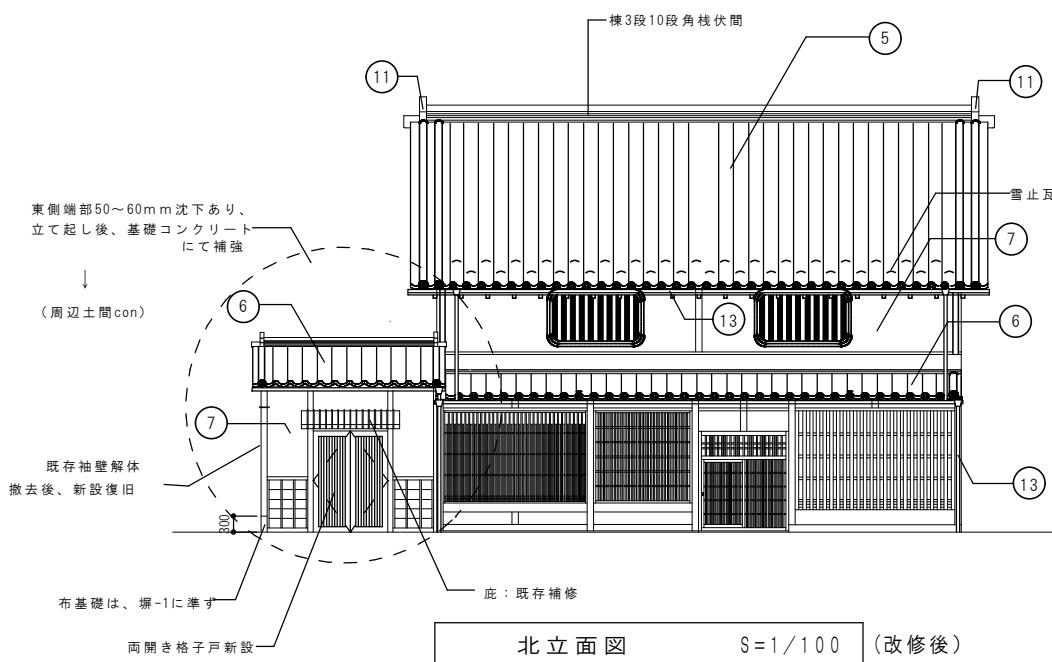


内部仕上表(改修後) 注、※部分の床下地(地板、根太、大引、束、東石)は全て既存撤去後、新しいべた基礎conの上に新設する						
階	室名	床	巾木	壁	天井	備考
1	店の間 事務室(1) 事務室(2)	店の間のみたみ表替え 事務室(1)(2)板張り	たたみ寄 (店の間のみ取り替え)	じゅらく壁及びしつくい壁 (補修壁、新設壁以外は既存のまま)	板張りt21(2階床板現し)(既存のまま)	補修壁、新設壁の仕上面は各室の既存仕上面に準じ、PB⑦9.5の上、珪藻土塗真壁(しつくい風又はじゅらく風)とする。また特記外すべて真壁とする。
	中の間 奥の間	たたみ敷(たたみ表替え)	たたみ寄(取り替え)	じゅらく壁(同上)(押入内しな合板t=4.0)	杉板竿縁天井 竿縁@485(既存のまま)	
	広縁	板張り(既存の床板で復旧)	ボード寄せ新設	しつくい壁(同上)	野地板、垂木現わし(既存のまま)、新設火打梁現わし	
	土間(1) 土間(2)	たたき土間(既存のまま)	既存け込板(スリット新設)	しつくい壁(同上)	板張りt21(2階床板現し)(既存のまま)	
	土間(3)	土間コン(べた基礎)の上 モルタル金ゴテ押工(墨入) (目地切り)	モルタル塗h=100	腰部h=1,050:杉羽目板(t12)張り 上部:しつくい塗(同上)及び新設壁	既存木軸、野地板現し(吹抜け) 一部構造用合板t=12.0突け付けOSCL塗	
2	納戸(1)	新設たたみ敷(化学畳)	たたみ寄(既存のまま)	しつくい壁(既存のまま)	杉板竿縁天井 竿縁@485(既存のまま)	
	納戸(2)	新設たたみ敷(化学畳)	たたみ寄(既存のまま)	しつくい壁(既存のまま)	杉板竿縁天井 竿縁@485(既存のまま)	
	納戸(3)	板張り(既存のまま)		土壁現し(既存のまま)	板張り(既存のまま)	
	納戸(4)	天然木フローリング貼(既存のまま)		土壁現し(既存のまま)	杉板竿縁天井 竿縁@485(既存のまま)	
	屋根裏	板張り(既存のまま)		土壁現し(既存のまま)	小屋組現し(既存のまま)	部屋使用なしにつき、床面積不算入

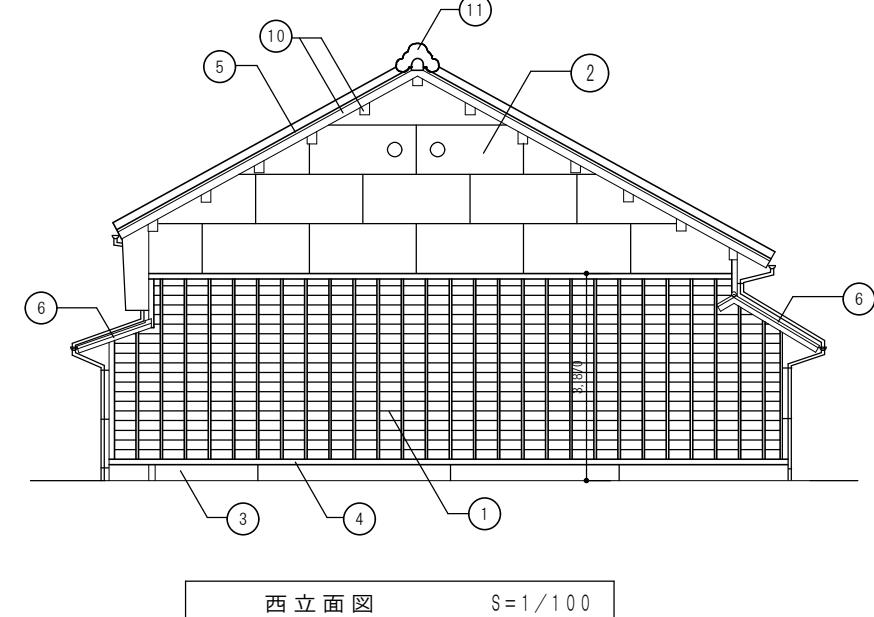
A.L.V. (S) の検討 (S) : 令116-2 排煙上有効な開口	A1 (m <sup>2</sup> )	A2 (m <sup>2</sup> )	A3 (m <sup>2</sup> )	L > A/20 (m)	V > A/20 (m <sup>3</sup> )	(S) > A/50 (m <sup>2</sup> )
縁	2.24		16.68		3.25 > 0.83	0.36 > 0.33
事務室(1)	7.22	14.44		6.81 > 0.72	2.42 > 0.72	0.31 > 0.29
事務室(2)	7.22				1.57 > 0.36	0.21 > 0.14
土間(3)	26.17			15.45 > 1.31	3.34 > 1.31	1.54 > 0.52
店の間	17.68			23.34 > 0.88	2.48 > 0.88	0.37 > 0.35
中の間	15.52				4.96 > 0.78	1.67 > 0.31
奥の間	18.68	34.20		13.08 > 1.71	4.97 > 1.71	0.73 > 0.68
広縁	4.27		38.47		3.80 > 1.92	0.87 > 0.77

注) A1: 各室 (A2, A3はA1の段階毎の合計)  
注) 土間(3)に厨房設備はあるがコンロはIHであり火気使用はない

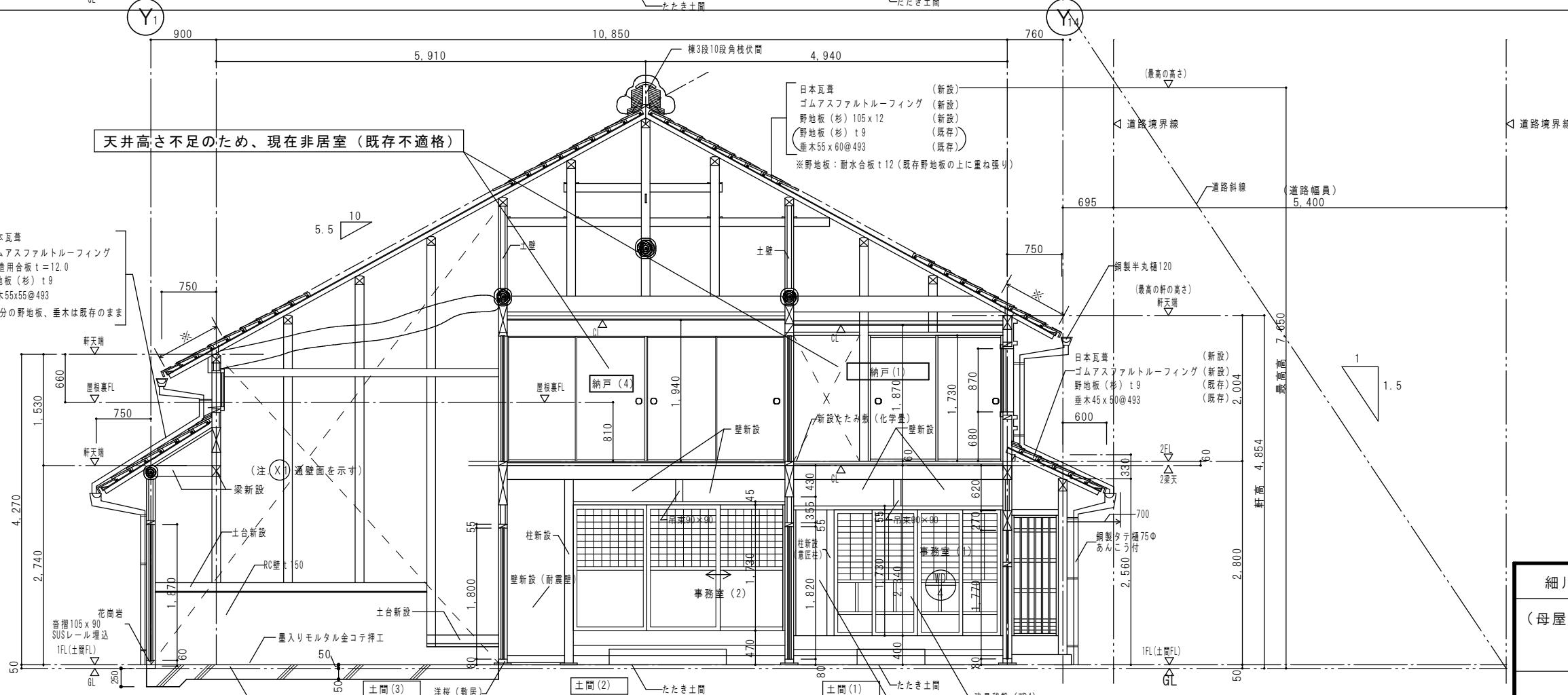
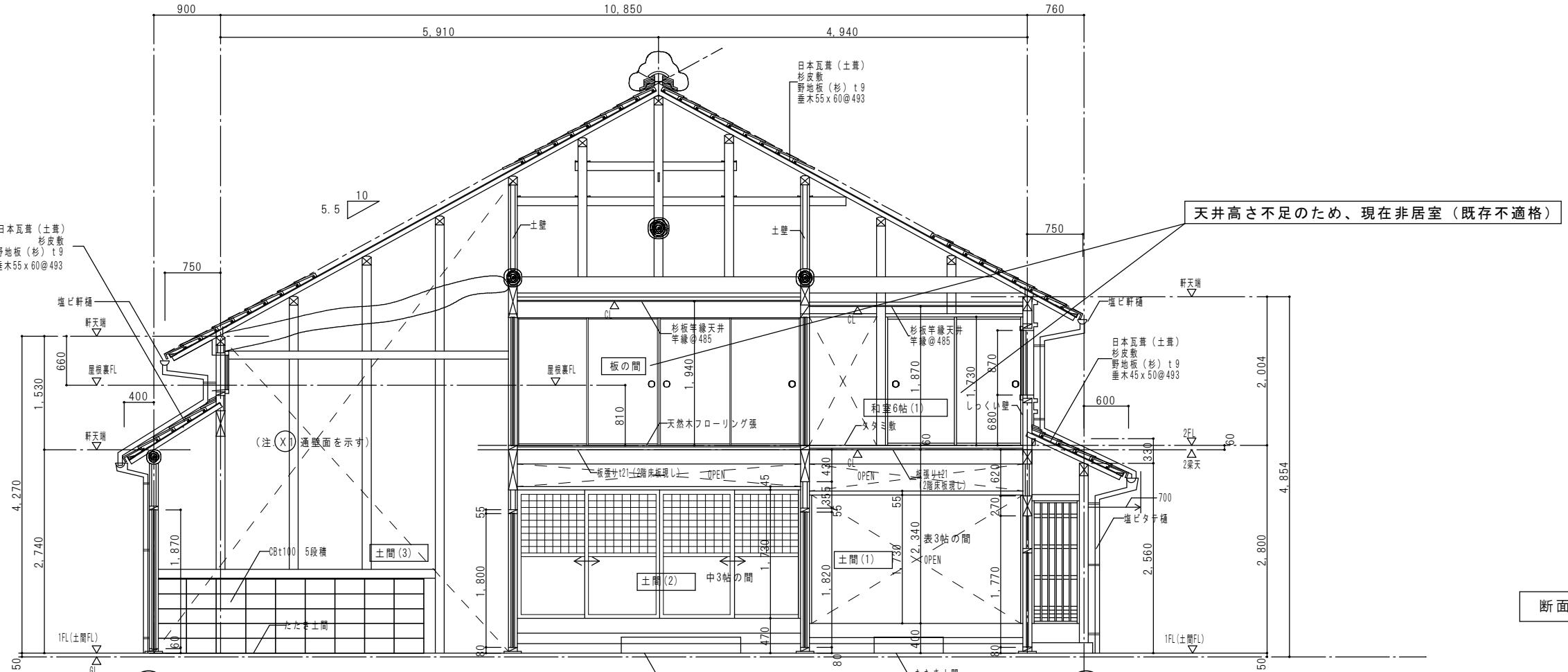
注) 普通階、無窓階のチェック	6 / 62
(wd-6) (wd-3) (wd-4) (WD9) (WD1) 1.80 + 2.44 + 1.36 + 2.48 + 1.25 = 9.33 m <sup>2</sup> > 1階床面積/30 = 119.35 m <sup>2</sup> / 30 = 3.98 m <sup>2</sup>	0610-1
↓ (普通階)	20.3.15



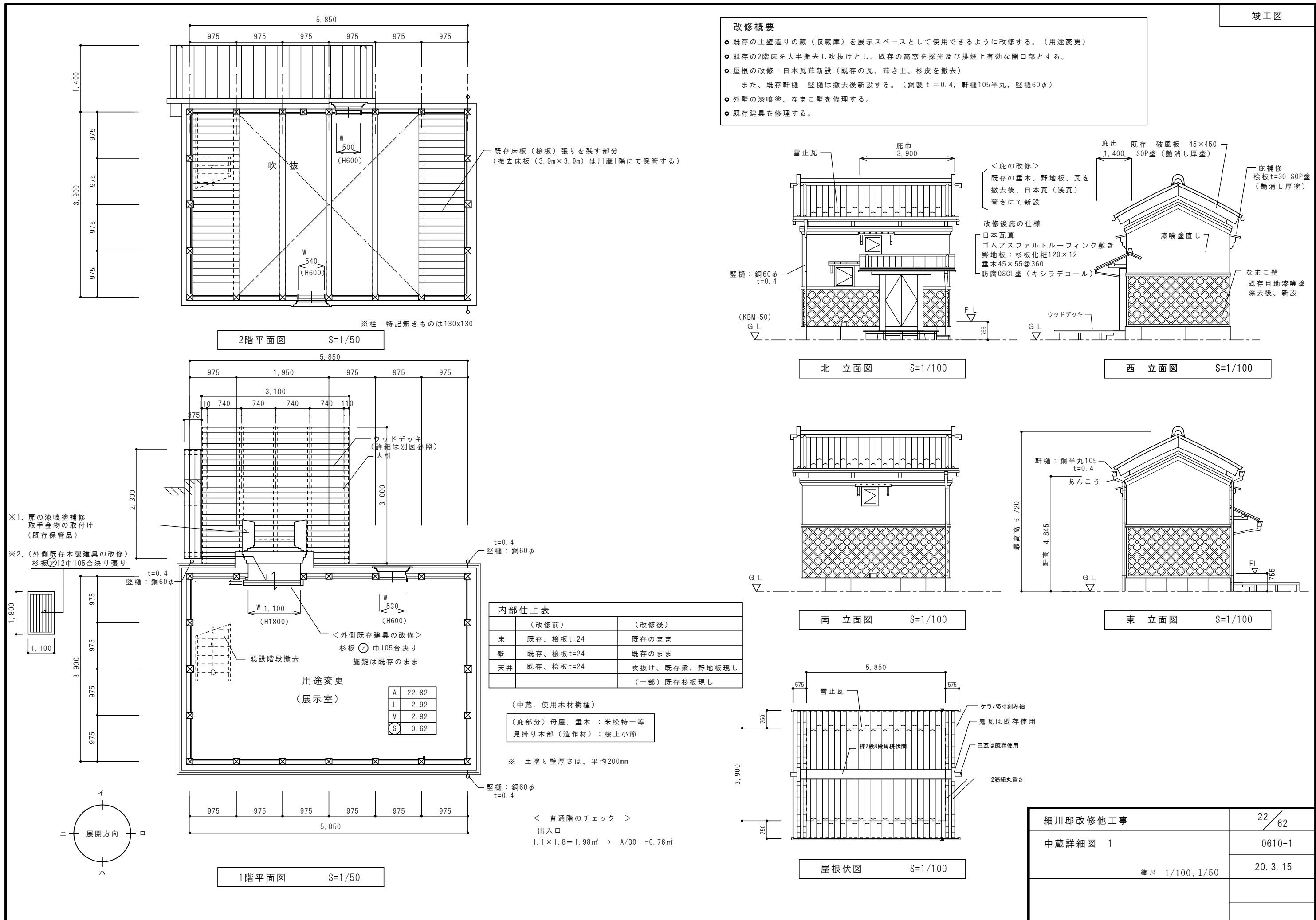
- ① 杉板210x15下見張  
ささら子45x45@450  
防腐OSCL塗 (キシラデコール)
- ② ガルバリウム鋼板 t 0.4張  
(構造用合板 t 12張下地)
- ③ モルタル刷毛引仕上
- ④ 付土台  
100x60  
水切 カラー鋼板 t 0.4
- ⑤ 屋根の改修  
(大屋根)  
既存の瓦、葺き土、杉皮撤去後既存野地板の上に新たに野地板 (105x12) 重ね張りし日本瓦葺とする
- ⑥ (下屋根)  
既存の瓦、葺き土、杉皮撤去し  
(耐震) 日本瓦葺とする。 (一部下屋根を延伸する)
- ⑦ しつくい塗 (補修)
- ⑧ 既存鋼板もや飾り (補修)
- ⑨ 既存鋼板破風 (補修)
- ⑩ しつくい撤去後  
構造用合板張り  
ガルバリウム鋼板張とする
- ⑪ 既存鬼瓦使用
- ⑫ モルタル塗粗面塗料吹付 (しつくい塗風)
- ⑬ 棚仕様: 鋼製軒半丸棚120φ 105φ  
鋼製タテ棚75φ 66φ  
あんこう付 あんこう付 あんこう付  
(母屋) (門屋) (母屋の下屋部分)

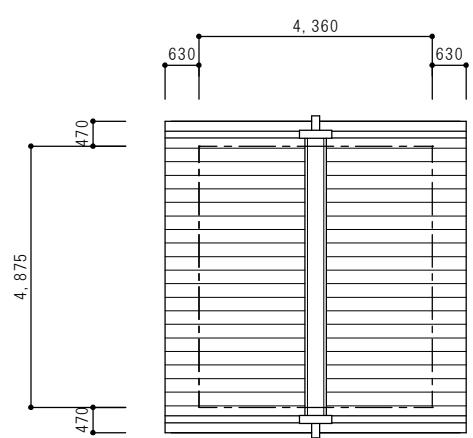


細川邸改修他工事	7/62
(母屋) 改修後立面図	0610-1
縮尺 1/100	19.3.15



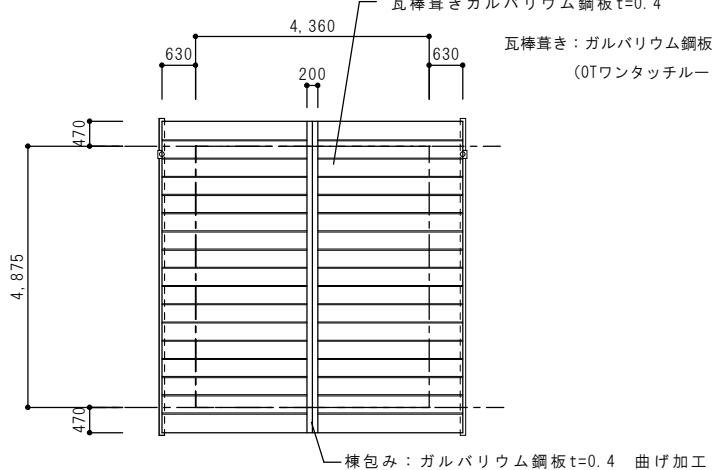
8 / 62	0610-1
20.3.15	縮尺 1/50





屋根伏図

S=1/100



改修後屋根伏図

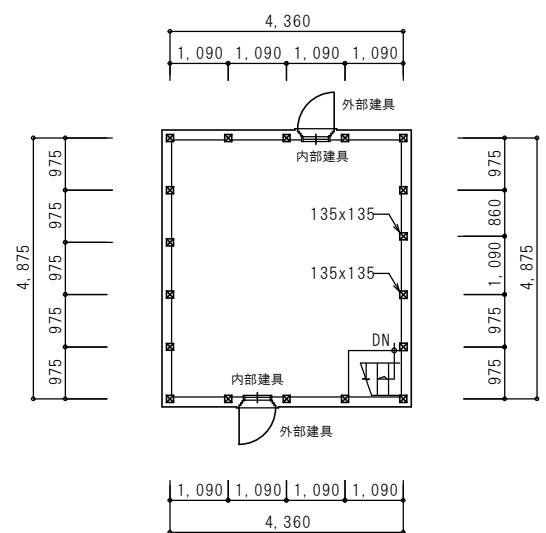
S=1/100

改修概要

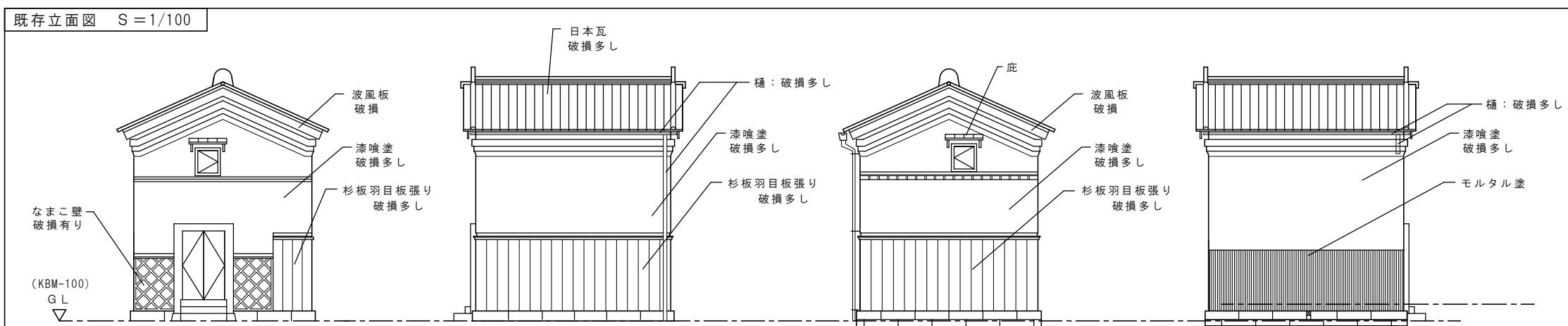
- 既存の蔵を従来通り収蔵庫として利用する。（用途変更なし）
  - 室内の内装は既存のまます。
  - 建具は修理して使用。
  - 外壁は既存の破損の多い仕上げを除去し鋼板張り及び杉板張りにて既存土塗壁を包む。  
(上記の除去とは、外壁のしつくい塗、モルタル塗、腰板張りを除去し、土壁の状態とすることを意味する。)
  - 屋根は既存の瓦葺きを撤去し鋼板葺きとする。又、樋は 軒樋、堅樋共に既存を撤去後、塩ビ製にて新設する。
  - 既存の内部木製建具、小窓は、外部側に乳白色アクリル板  $t=3.0$ 張り及び その他、建具の建て付け調整

## 内部仕上表

	(改修前)	(改修後)
床	既存、桧板t=24	既存のまま
壁	既存、桧板t=24	既存のまま
天井	既存、桧板t=24	既存のまま



2階平面図

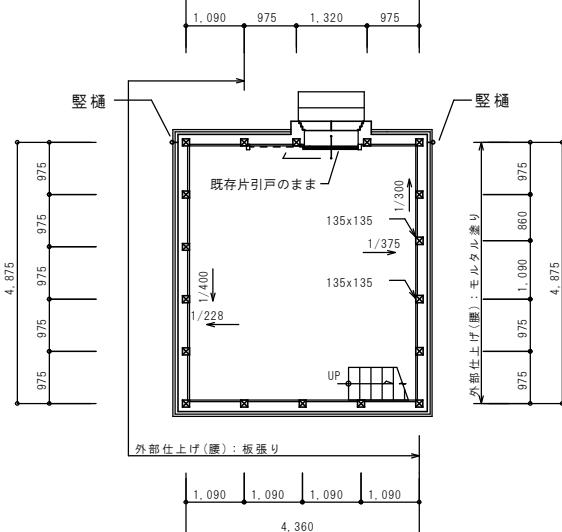


北 立面図 S=1/100

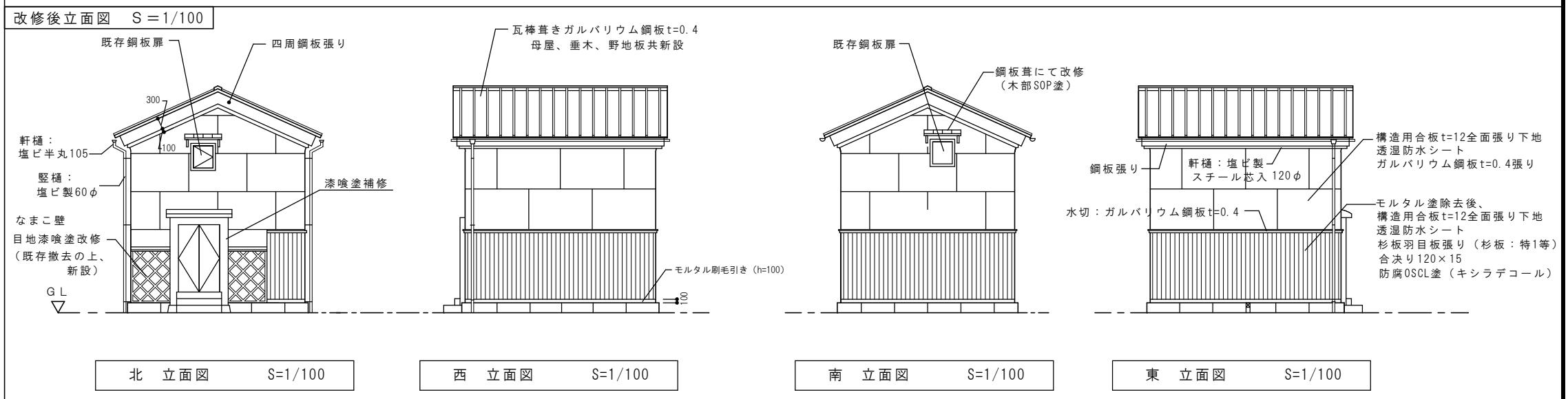
西 立面図 S=1/100

南 立面図 S=1/100

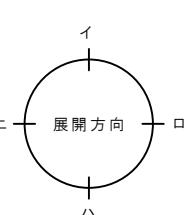
東 立面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



※1 土塗り壁厚さは、平均200mmとする  
※柱：指示無きものは130x130



細川邸改修他工事

24 /

川藻詳細図 1

0610 1

總頁數 1 / 100

20. 3. 15

For more information, contact the Office of the Vice President for Research and Economic Development at 319-273-2500 or [research@uiowa.edu](mailto:research@uiowa.edu).

1000

